

ごあいさつ



本日はご来場頂き誠に有難うございます。宇都宮短期大学は、おかげさまで今年、創立50周年を迎えました。現在、長坂キャンパスでは、「豊かな心・暮らし・育み」を共通の目標に、音楽科・人間福祉学科および宇都宮共和大学子ども生活学部が共に学んでいます。

彩音祭メインコンサートは、50周年記念企画による宇都宮短期大学管弦楽団による演奏です。本学園卒業後、ヨーロッパで学んだお二人、西尾真実先生をソリストに迎え、阿久澤政行先生の指揮のもと、宇短大および附属高等学校音楽科の卒業生・在校生・教員を中心に栃木県交響楽団、MCFオーケストラ等のご協力により編成されました。秋の彩りが深まる長坂キャンパスで、祝典に相応しい選曲による、本学園学友の熱い演奏をお楽しみいただけましたら幸いです。

皆様には、これからも本学に温かいご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮短期大学学長 須賀英之

プログラム

ミハイル・イヴァーノヴィチ・格林カ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 Mikhail Ivanovich Glinka(1804-1857)

爽快感溢れる本曲は1842年に作曲され、整然としたソナタ形式で書かれています。作曲者自身の表現だと「全速力で疾走する」ように演奏するとされており、格林カの全作品の中で、最も有名で広く親しまれているのが、この序曲です。軽快で爽やかな曲想が特徴であり、オーケストラの技巧を堪能できる一曲です。

フレデリック・フランソワ・ショパン：ピアノ協奏曲1番 Op.11 Frédéric François Chopin(1810-1849)

- ・第1楽章 Allegro maestoso
- ・第2楽章 Romanze, Larghetto
- ・第3楽章 Rondo, Vivace

本曲は、1830年にショパンが故郷ポーランドと訣別する直前に作曲されました。ショパンはピアノ協奏曲を二曲書き、片思いに悩む青年(ショパン)の切なさや悲しみを根底に持つ共通点があります。

ピアノ協奏曲第2番と比べてみると、本曲の方が楽器編成の規模が大きく、華やかなピアニスティックが魅力の作品です。

《休憩》

アントニン・レオポルト・ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界」よりOp.95 Antonín Leopold Dvořák(1841-1904)

- ・第1楽章 Adagio-Allegro molto
- ・第2楽章 Largo
- ・第3楽章 Scherzo. Molto vivace
- ・第4楽章 Allegro con fuoco

第2楽章が、唱歌『家路』としても親しまれる本曲は、ボヘミア(今のチェコ共和国)に生まれたドヴォルザークが、ニューヨークのナショナル音楽院の院長としてアメリカに滞在していた1893年に作曲しました。作曲家自身によるコメントに、「作曲家たちには、自己の属する国民の民謡の精神を曲中に反映させる義務がある。しかしそれは、これらの民謡の旋律をそのまま裸で使うのではなく、その精神を作曲して反映させるのである。」と残されています。

本曲の中には、黒人霊歌やアメリカン・インディアン(マジャール族)の民謡に多く見られる五音音階的な特質が現れます。作曲者自身が彼らの民謡精神をさらに創作した、世界中で愛される至極の一曲です。

ピアニスト 西尾 真実 (Nishio Mami)



宇都宮短期大学附属高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。飯塚教育英会奨学生を受けチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院へ留学、最優秀本科卒業、2015年同大学院修士課程修了。更にイタリアのTalent Music Master Coursesにてディーナ・ヨッフエ女史のもと研鑽を積み、2017年ディプロマ課程修了。2015年ロシアのサンクト＝ペテルブルクで開催された第16回マリア・ユーディナ国際コンクール第一位。同年パリで開催された第15回スクリャービン国際コンクールで優勝など、国内外で多数受賞する。Bellevue in Concert 2016 by Steinway&Sons Italia、ディーナ・ヨッフエ来日記念Fazioliコンサート、スクリャービン没後100年ピアノ・ソナタ全曲演奏会、第13回宮崎国際音楽祭等数々の演奏会に出演する。ソリストとしてオーケストラと多数共演。各地でリサイタルを開催、好評を博す。現在、宇都宮短期大学音楽科、同附属高等学校音楽科特別講師。公式ホームページ <http://maminishio.com/>

指揮者 阿久澤 政行 (Akuzawa Masayuki)



宇都宮短期大学音楽科ピアノ演奏専攻コース卒業後、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業、及び同大学院首席修了。クロイツァー賞受賞。平成23年度文化庁海外研修制度研修員としてハンガリー国立リスト音楽院で研鑽を積み、第3回A.サリエリ国際コンクール(伊)総合グランプリ“サリエリプライズ”受賞をはじめ、多数の受賞歴を持つ。宇都宮市民賞受賞。ワグナー・ナンドール財団奨学生としてハンガリー国内をはじめ、ヨーロッパでの多数の演奏会に出演。ピアノ独奏のみならず、弾き振り(ピアノと指揮)による演奏形態、そして指揮を北原幸男氏に師事し、近年は指揮者としての演奏活動も本格的に始まり、音楽の幅をさらに広げている。現在、宇都宮短期大学音楽科専任講師、同附属高等学校音楽科講師。ミヤラジFM「阿久澤政行のおいしいクラシック」メインパーソナリティー。